

# イギリスでの留学経験

法文学部人文学科多元地域文化コース4年 花本 きらり  
2023/9 ~ 2024/1 セントラル・ランカシャー大学



## ★セントラル・ランカシャー大学 (UCLan)



イギリス北西部のランカシャーの中心街であるプレストンに位置。プレストンからマンチェスターまで電車で約40分、ロンドンまでは約3時間。  
世界100か国以上からの学生が在籍し、300以上の学部プログラムと200以上の大学院コースがある。  
日本語を学ぶコースがあるため、Japan DayというイベントやJapanese Societyというサークルなどの交流の場がある。

## ★語学学校 (Language Academy)

Study Overseas Programme

・1日1コマ(3h) / 月~金

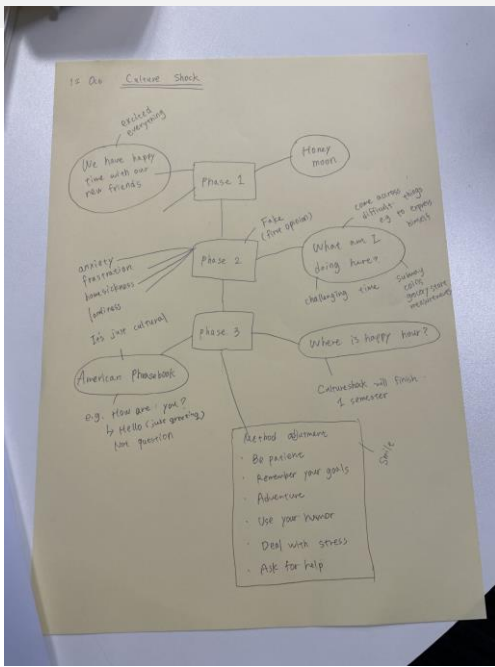
・授業内容

エッセイとプレゼンテーションのノウハウ  
イギリスの文化・歴史 など

・最終課題

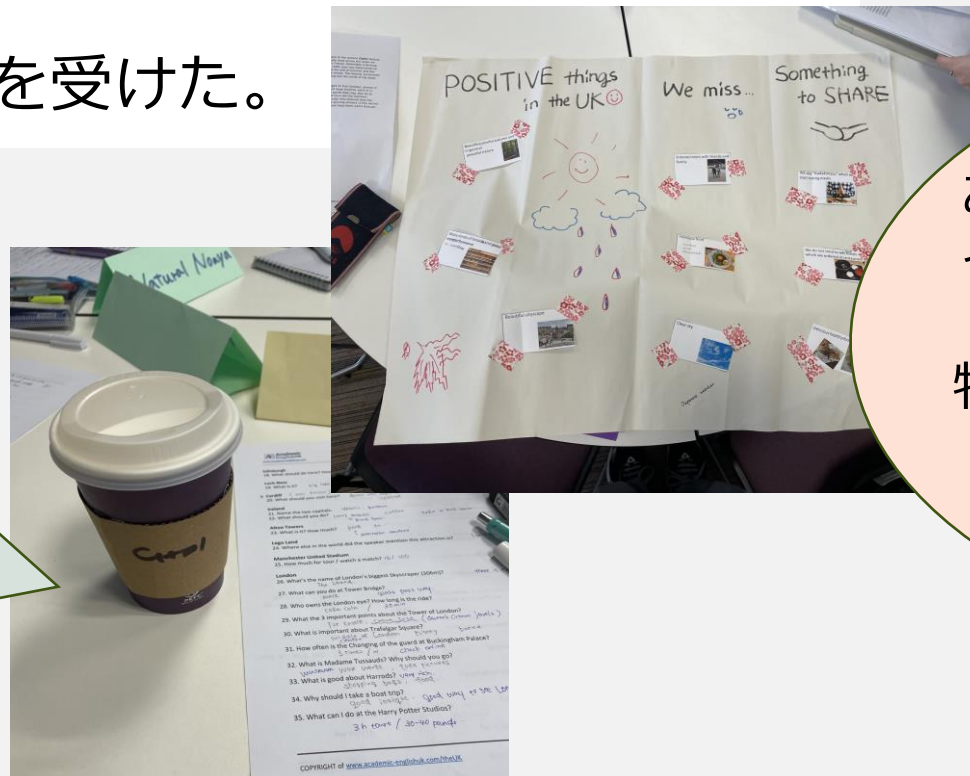
リサーチに基づいたエッセイ(1200words)

イギリス文化に関するプレゼンテーション(5-7mins)



Study Overseas Programmeの授業とは別に、週に1回モジュールという大学の授業を聴講することができ、私はLanguage and Literatureという授業を受けた。

1コマ3時間あるため、飲み物は必須！  
授業中であってもコーヒーなど自由に飲めるので、休憩時間に大学内のカフェに走り、コーヒーを買うことも。



## ★クリスマスホリデー 12/16 ~ 1/7

イギリス人は休暇が好きらしく、クリスマスホリデーという休暇が3週間あり、私は約10日間のヨーロッパ旅行に出かけた。

### Paris (France)

エトワール凱旋門 エッフェル塔 ルーブル美術館

### Barcelona (Spain)

サグラダ・ファミリア ブケリア市場 カサ・ミラ

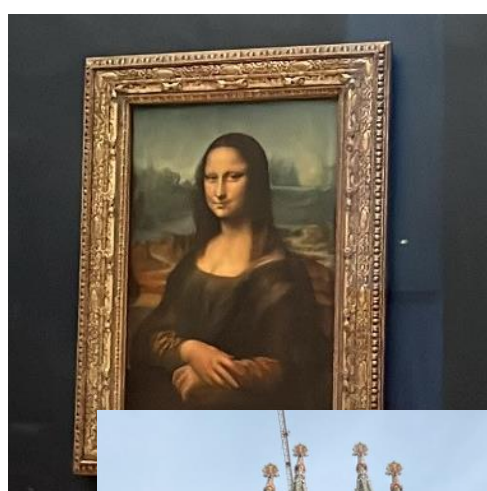
### Munich / Nuremberg (Germany)

ミュンヘン・レジデンツ クリスマスマーケット

### Milano / Florence / Roma

ドゥオーモ トレヴィの泉 コロッセオ など

他の国へのアクセスが簡単なのはヨーロッパならではの良さ！

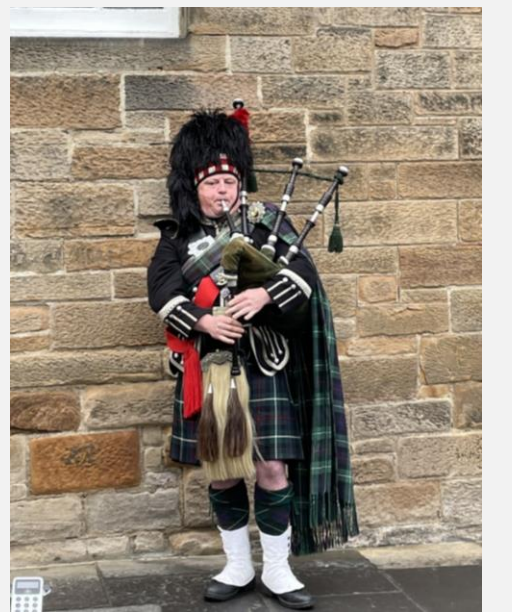


## ★4か月間の留学生活を通して

最も大きな変化は、英語を話すことを「楽しい」と感じるようになったこと。留学以前は話すことに対して恥ずかしさやためらいがどうしてもあったが、時間が経つにつれて気持ちが変化し、授業のディスカッションやフラットメイトとの何気ない会話を楽しんだ。また、留学中にイギリス国内やヨーロッパ諸国（フランス、スペイン、ドイツ、イタリア）のさまざまな場所へ足を運んだことは、貴重な経験となった。ひとつ後悔しているのは、最初から積極的に友達作りに励むべきだったということだ。短期留学ということもあり、仲良くなった頃には帰国しなければいけなかったため、時間が足りないと感じた。しかしながら、この4か月間は私にとって非常に有意義な時間となったため、留学すると決め、行動に移してよかったと改めて感じた。

## ★私が感じたイギリスのカルチャー

- ・サッカーに対する熱が高い、パブでは必ずサッカー観戦
- ・列をちゃんと守る、横入りは絶対ダメ
- ・ドアを押さえてくれる、先にどうぞしてくれる
- ・直接的に意見を言わない（相手に敬意を払う）
- ・とりあえず紅茶を飲む（ミルクと一緒に） など



## ★イギリスのごはん事情

私が食べた“THE イギリス”なもの

- ・English Breakfast
- ・Fish&Chips
- ・Afternoon tea
- ・スコーン など



あまり美味しいイメージを持たれないイギリス料理だけど、美味しいものもたくさん！

特に、UCLanの近くにあるQueenというお店のFish&Chipsは最高！

ただしビッグサイズなので要注意△



## ★ある日のスケジュール

8:00	起床
9:00 ~ 12:00	授業 (SOP)
	授業後そのままお気に入りの古着屋に向かい、気になっていたデニムパンツを購入◎ お昼は近くのお店でパンを買って公園へ。
14:00 ~ 16:00	モジュール (Language and Literature)
	授業後、ALDIという近くのスーパーで買い出し。
19:00	夕飯
20:00 ~	授業の復習
	授業中のノートを見返して、分かりやすくまとめ直したり、BBCを聞いたりして過ごす。
0:00	就寝